



形勢學論

表一名政

4262

114
A 118

形勢學論

荷蘭政科大學頭ヒツセリシ著述 杉 亨二 譯稿

第一篇 形勢學ノ本義及ヒ目的

第一章 形勢學ノ本義

何ヲカ形勢學ト謂フ曰一國ノ人民數國ノ人民
若シクハ萬國ノ人民其相養スル實際形勢ヲ知
ルノ學ナリ其實際形勢ヲ知ル所以ノ者ハ即チ
形勢學ノ表章スル所ニシテ凡ソ事物現ニ存シ實

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

ニ成ル者ヲ明ニスルヲ要ス此レ斯クアラン此
レ斯クナカラントノ臆測ヲ用フベカラス
允ソ人間相養ノ實際形勢ヲ知ル所以ノ者ハ必
ス形勢学ニ依ラザレハ之ヲ表章辨識スルヲ得
ス是故ニ此学ノ區域ヲ定ムレハ之ヲ實體ノ学
ニ称スベシ

形勢学ハ惟人間相養上ノ事ヲ以テ其限界トス
近世ニ星天形勢表植物形勢表ノ称アリ星天形

勢表ハ各星ノ全數ヲ表示シ植物形勢表ハ各區
草木ノ全數ヲ表示スルノ類ナリ然レモ形勢表
以テ之ニ名ツクルハ假借ノ語ニシテ其本義
ニアラザルナリ

夫レ一國或ハ數國若シクハ萬國ノ人間相養ス
ル所ノ實際形勢ヲ知ル此レ即チ形勢学ノ區
域ナリ而シテ人間相養中ニ於テ其探討スル所
ノ事物ニ隨ヒ區域モ亦廣狭ノ別アリトス

凡一國人民ヲ以テ其相養スル所ノ形状ヲ表章
セシニ譬ヘハ尼達蘭ノ形勢表ノ如シ表中其人
民ノ相養スル所ノ者ヲ掲載ス即チ國土ノ形勢
及ヒ產物民數並ニ生者死者ノ増減民力ノ多寡
人民ノ貧富及ヒ產業產業ハ即チ農作礦業漁業
貿易航海工作等ノ如シ又一國人民中ニ就キ專
ラ一事ヲ以テ表章スルヲ要スル者アリ譬ヘ
ハ尼達蘭前十年間ノ貿易表ノ如シ

凡ノ事或ハ數國ノ人民ニ關係シ其異同ヲ比較
スルヲ要スル者アリ譬ヘハ歐羅巴各國ノ貧民
表ノ如シ

凡物或ハ全世界ニ關係スル者アリ此ノ如キ者
ハ地球上各地ノ產數ヲ審明ニスルヲ要ス譬ヘ
ハ金銀等及ヒ木綿ノ產出表ト用費表トノ如シ
勢ニ廣ク大地上ニ涉テガルヲ得ズ

第二章 形勢学ノ目的

夫レ形勢表ハ人間相養ノ實際形勢ヲ知ルノ学ニシテ事物ノ現ニ存シ實ニ成ル者ヲ表章ス此レ即チ形勢学ノ目的ナリ其目的ハ他ナシ人知新ヲ好ムノ天性ニ從フノミ然レ其目的トスル所唯好新ノ事ノミニ止マラハ其用ニ於テ益以ナカル可シ世間往々新聞紙中屢見ル所ノ者如ク徒ニ娛樂ニ供スルアリ此ノ如ク虚飾無用ナル者ヲ以テ形勢表ト爲ス可カラズ

形勢学ノ事實ヲ表章スルハ其目的專ラ真實ノ形状ニ基キ至當ノ政令ヲ施シ善ヲ取り惡ヲ捨テ事ノ實理ニ悖レル者ヲ釐革スルニ在リ此故ニ形勢表ハ國政ヲ執ル者ノ爲ニ欠ク可ラサル有益ノ寶典タルヲ明カナリ羅馬ノ古賢子世路曰ク議政ノ官員ハ通國ノ形勢ヲ知ラザル可ラス形勢ノ二字其諛ヌル所至テ廣シ夫本國ノ兵勢如何財用如何又同盟英國ハ何等ノ國ナリヤ

事アルノ日ニ當テ、英國ノ援兵幾許ヲ得ベシヤ、皆其中ニ在リト、凡ソ何等ノ國ニテモ當路ノ者、法ヲ制シ令ヲ出サントスルニハ、先ツ本國ノ實際形勢事狀ヲ審識セザル可ラズ、兵備ヲ修ントスルニハ、先ツ國內ニ兵卒ト爲スベキ可男幾許ヲ得ヘキヤヲ知ラザル可ラス、租稅ヲ征セントスルニハ、先其稅ヲ納ムベキ國民ノ財產ト物品ノ多寡トヲ知ラザル可ラズ、(譬ヘハ田數戸數等

ノ如シ)獄舎ヲ設ルニハ、先罪人ノ數幾許ヲ知ラザル可ラズ、又交易航海ヲ盛大ニセンニハ、本國并ニ鄰國ノ交易航海ノ事狀ヲ審ニセザルベカラズ、若夫凶歲饑饉ノ患ヲ慮リテ、政府其救災ノ法ヲ設ケンニハ、一箇ノ形勢表ヲ以テ、豫メ國民所需ノ穀數ト其給濟スヘキ穀數トヲ審明ニセザル可ラズ、此ノ如ク一事一定ノ事ニ係ル者ヲ名ツケテ常定形勢表ト稱ス。

然レ氏形勢学ノ探討從事スル所此ニ止ラズ方
今ノ國勢事實ヲ知ルノミニテハ未タ以テ足レ
リトス可ラズ又之ヲ往時ト外國トニ比較シ其
異同如何ヲ察スルヲ要ス此ノ如キ者ヲ名ツケ
テ比較形勢表ト稱ス

今一國ノ人民ニ於テ増減如何往時トノ比較如
何ヲ知ラントスルニハ目今ノ民数ト十年或ハ
二十年又ハ三十年前ニ計算スル所ノ者ト比較

算定セザル可ラズ又新ニ法ヲ立令ヲ出スニ於
テ其得失如何ヲ知ラントスルニハ即チ法制改
革前後ノ國勢事實ヲ比例シテ其得失ヲ察セザ
ル可カラズ譬ヘハ近時英佛二國新ニ交易ノ條
例ヲ約スルトニ於テ得失ヲ知ラント欲スルニ
ハ其新約後交易ノ品額ト新約前ノ品額トヲ比
較シ以テ之ヲ視ルヲ要スルカ如シ又自國ト他
國トノ國勢事實ヲ知ラント欲セバ自他國郡邑

ノ盛衰及ヒ其記載スル所ヲ以テ互ニ其異同ヲ
参照比較セザル可ラズ

此レ比較形勢表ハ事實上ニ於テ大裨益ヲ爲ス
コト論ヲ俟タズ若夫事ノ是非ニ於テ議論一定
シ難キ時ハ姑ク空論ヲ舍キ此比較形勢表ニ執
キ實事ニ據リテ之ヲ視ル時ハ其是非得失ヲ決
スル一判然明瞭ニシテ毫モ疑ヲ容レザル可シ
是故ニ比較形勢表ハ律法ノ是非事物沿革ノ善

悪ヲ判断スル試金石ト謂フベク又旧律ノ改革
スヘキ一ヲ徵証シ又悖理ノ論ヲ駁シ又傳來ノ
臆説ヲ看破スル明鏡ニ比ス可キ者トス

夫レ事物ノ實ヲ經驗スル一ヶ月ヲ累テ歳ヲ歴ル
ニ隨テ其終始本末ヲ知り以テ人間生活ノ道ト
造化ノ功用トニ於テ果シテ一定ノ規矩アル一
ヲ發明ス而シテ其發明スル所ノ者ヲ以テ人ノ
学識ヲ長シ人間ノ利用ヲ弘大ナラシムル一ヲ

得ル其裨益亦少カラス形勢学ノ目的又此ニ在
リ
星学者謹テ天体ノ運歩ヲ實測シ以テ宇宙自然
ノ規律ヲ推知スルニ等シク形勢学者亦謹テ人
間相養上ノ事實ヲ歴驗シ以テ其生活スル所ノ
道理ト作業トノ自然ノ規律ニ基クテヲ推知ス
ルヲ要ス

星学ハ人間相養ノ道ニ於テ其裨益ヲ爲スル少

シトセス是レ人生ヲ司ル天律ヲ探索シテ人間
ノ利用厚生ヲ興サシムルヲ得レハナリ夫レ
天律作用ノ經驗ニ原ツキ宇内ニ突頭スル所ノ
景象ヲ豫知スルキハ則チ禍災ヲ未萌ニ防ク方
畧ヲ施スル亦甚難シトセズ乃チ暴風大水海嘯
火災電等ノ天変何レモ既往ヲ照シテ将来ヲ推
知シ其損失ヲ計較シテ以テ各般禍災保命會社
ノ基本ヲ立ツルヲ得ベシ

又國民中男ト女ト婚姻セル者ト婚姻セザル者ト生ル者ト死スル者トノ比較皆一定ノ確律アルト獨リ形勢表ノ歷驗ニ由テ知ルヘキノミ此故ニ貴賤品種并ニ各種ノ產業ニ於テ男女及ヒ年齡ニ應シテ概_テ其命數長短ノ律ヲ定ムルヲ得是レ生涯給金養老金孀婦料家産保險金死後家族支給金等ノ金額ヲ定ムル所以ニシテ是レ亦形勢表ノ實驗ニ基キテ以テ之ヲ較定スル

ノミ

又甲國ト乙國ト比較シテ何等ノ惡業多キカ何種ノ犯罪少キカ其犯ス所ノ罪男女孰レカ多ク或ハ年齡幾何ノ者尤モ多キヲ視テ以テ其罪ニ大小輕重アル事ヲ審明ニスルモ亦形勢表ノ歷年ノ經驗ニ由リテ之ヲ知ルノミ右ハ律法ヲ立テ刑典ヲ設ケ及ヒ獄舎ノ制度巡查所掌ノ法則ヲ定ムル等ニ於テ缺ク可カラザ

ル者トス此ノ如キ目的ヲ以テ試験スル者ノ事
理形勢表ト称ス

第三章 形勢学ト他学トノ関係

夫レ形勢表ハ試験實効ノ学ナリ而シテ又所謂
誌学中ニモ多少コレト関係スル者アリトス
第一種ハ萬有学ナリ其目ヲ舉クレハ即チ天氣
学地質学鑛学植学動物学人身学等是ナリ右諸
学ノ考究スル所人間相養ノ状態ヲ改革スルニ

足ル者ハ之ヲ取リテ形勢学中ニ収ム是レ形勢
学ノ此諸学科ニ交渉スル所以ナリ是故ニ國人
固有ノ生産營業ノ本源ヲ明ニシ其貧富ヲ計リ
其風俗ノ異同ヲ考ヘ其攝生ノ所為ヲ辨シ其所
感ノ病症及ヒ人命ノ長短死生ノ数ヲ審ニセン
ト欲セハ則チ天然ノ地勢風土氣候信風寒暄及ヒ
鑛物植物動物等自然ノ產物ヲ辨識セズンハア
ル可カラズ

形勢学ノ表章スル所便チ以テ萬有学ノ考究ニ
資クルル亦少ナカラズトス是故ニ人身学者民
口形勢表ノ實効定論ヲ觀テ以テ其發明スル所
アルナリ

第二種ノ誌学ハ歴史地誌^{人学ナリ}而シテ形勢
学ト此三学ト相関スル所更ニ密ナリトス故ニ
世人動モスレハ誤テ形勢学ヲ右三学ト混淆シ
或ハ形勢学ヲ以テ歴史地誌人学ノ内ニ入ル

者アルナリ右三学ト形勢学トノ関涉及ヒ區分
ハ左ニ之ヲ論列ス

歴史ノ過去ノ事實ヲ記録ス形勢学ハ一定セル
時限中ノ事實ヲ表章ス或人曰ク形勢表ハ定止
セル歴史ナリ歴史ハ經過セル形勢表ナリト誠
ニ新意ノ語ト謂フベシ

地理学ハ土地ノ形状山谷河海湖沼并ニ其境界
區分等ヲ論ス形勢学ハ民間生活ト産業ノ土地

ト地形トニ關係スルヲ論シ及ニ通商交易ノ様民口ノ多寡ヲ指示ス地理学ハ專ラ地理ヲ説キ形勢学ハ專ラ人民ノ生計ヲ論スルモノトス人学ハ人民ノ性質才能風俗礼教慣習及ヒ需用ヲ説キ且ツ彼此人民ノ性質風俗ノ互ニ相異ナル者ヲ論ス形勢学ハ民間ノ生産貧富國風及ヒ工藝貿易等ノ以テ國風ト氣質トニ關係スル所以ノ者ヲ示ス人学ハ譬ヘハ佛人ト英人トノ

質相異ナルヲ説クニ佛人ハ輕悍ニシテ氣豪且ツ風致アリ英人ハ自高ニシテ着實且ツ練達ナルヲ記スルカ如シ形勢学ハ譬ヘハ佛人ト英人ノ業作相異ナルヲ示スニ佛人ノ産物ハ美麗ニシテ巧妙ナリ英人ノ産物ハ堅實ニシテ有用ナルヲ記スルカ如シ
更ニ別種ノ学アリ所謂政治学理財学是ナリ而シテ此ニ学ノ形勢学ト關係スル下尤モ深切

リ殊ニ政治理財ニ於テハ形勢ヲ以テ其最ニ
ク可ニザル資補トスルナリ

理財学ト形勢学トノ關係尤モ親密ニ其區分
ヲ辨スルヲ能ハザルモノアリトス甲ハ乙ニ益
シ乙ハ甲ヲ補フテ恒ニ一河ニ合流スル者ト謂
フヘシ理財学ハ形勢学ノ彙集スル所ノ事實ニ
徴シテ論ヲ立テ理ヲ述ル者ニノ畢竟理財学ハ
形勢表中ヨリ採スル所ノ理論タリ此二学ヲ

シテ而シテ經世濟民ノ学ト称スベキナリ

政治学ハ形勢表ノ表示スル所以テ國躰ヲ始ト
シテ立法政令并ニ國民ノ權利及ヒ義務外交兵
備守成刑政監察濟貧学政税法財政等ノ事ヲ制
定スルニ於テ尤モ缺ク可ラズトス而シテ形勢
表ハ右諸般ノ法制各其宜シキヲ得タリヤ又政
府ノ官人能ク心ヲ此諸務ニ用フルヤヲ明白ニ
指示スルモノトス

人常ニ曰ク数字世界ヲ治ムト曰ク数字政治
ヲ記ス

第二篇 形勢探討論

第一章 形勢探討ノ方法及ヒ區分

形勢表ハ人間世界中事物ノ實効ヲ示ス所以ノ
学ナリ是故ニ形勢探討ノ本ハ一トシテ事實ニ
非ルハナシ○各事各物ノ實際ヲ表記シテ尤モ
確且ツ密ナラシムルハ数字ヨリ善キハナシ

ヲ精密ニ表章ス可キ形勢表中ニ多ク数字ヲ用
フル所以ノモノハ是カ爲ナリ

然ルヲ以テ或人ハ数字ヲ舍テ所謂形勢表ト云
フ者ナルヲ知ラズト謂ヘリ而シテ或人ノ説ハ
甚シキニ過タリ夫レ人間相養ノ事實又数字ニテ
記シ盡スベキニアラス且ツ数字ハ必ス註釋ヲ要
ス而シテ数字ヲ以テ一箇ノ事實ヲ表章スルモ
其利害得失ヲ知ルニ至テハ理ヲ以テコレヲ推

究セザル可カラス其理ヲ以テ之ヲ推究スル亦
形勢表所務ノ一事ナリ

形勢学ノ探討スル所ハ左規矩ニ因ラズシハ世
ニ裨益スルヲナカル可シ凡^ソ事物ノ實ハ数字ヲ
以テ務^クノテコレヲ精密ニ表示スルヲ要ス而シ
テ先^クニコレヲ搜羅シコレヲ彙集シ次ニ其事物ノ
順序ニ從ヒ之ヲ掲載シ結尾ニ其利害得失ヲ判
定スベシ

故ニ形勢表ノ探討法ヲ別ツテ三段トス

甲 事實ヲ搜羅彙集スル事

乙 一定ノ目的ニ從テ事實ノ位置ヲ定メ序
次ヲ正ス事

丙 彙集羅列セル事實ノ比較ヲ定メ利害得
失ヲ明ニスル事

第二章 事實ヲ搜羅彙集スル事

此ハ唯報知ヨリノ得ル所ノ事實ヲ羅集確定ス

ルノミヲ以テ所務トシテ此ノ務容易ナルニ似テ
實ハ鍛不田ニシテ甚タ難事タリコレヲ為スニ勉
強耐忍智慧ノ三事ヲ要ス

事實ヲ彙集スルニ殊更ニ注意スベキコト二件
アリ

第一 彙集スル所ノ事實適切詳備シテ遺漏
ナキ事

第二 事實ノ最モ有用ナルト否ラザレト混

同合一シテ其順序ヲ失フコトナク善
ク心ヲ用ヒテコレヲ區分纂集スルヲ
要スヘキ事

善者二件ノ法式ニ注意セザレハ相ヒ矛盾シ
テ紛紜錯雜ヲ生シ形勢表纂集ノ要ヲ失フニ
至ラレ故ニ偏重偏輕ノ患ナクシテ適實正中ヲ
得ルニハ智慮ト熟練トヲ以テ缺ク可カラザル
者トス○譬ヘハ農業形勢表ヲ製セント欲スル

如キ表中各箇ノ田園各種ノ穀類菜根并ニ採獲
ノ多寡各々其價直等ヲ審ニ記載シ以テ農業耕
田ノ全躰ヲ盡シ其利害得失ヲ明ニセザル可カ
ラズ然レトモ若シ夫レ邑コトニ之ヲ揭示セント欲
スルトキハ尼達蘭ノ小國ト雖猶先ツ千二百箇ノ
農業形勢表ヲ作り次ニ又之ヲ減除彙成シテ全
國ノ農業形勢表ヲ大成ス可シ又農業形勢表ノ
詳悉精備ニシテ缺漏ナキコトヲ要スルニハ年

々コレヲ改メ製ス可シ其故ハ田圃ノ耕作年ニ
從テ同シガラズ豊歉年々一ナラズ又土産ノ物
價從テ異同アルヲ以テナリ然レトモ毎歲コレ
ヲ改製スルトキハ數年ヲ出ズシテ表及ヒ記録
ノ紙數充棟汗牛ノ多キヲナシマタ午ヲ下スコ
ト能ハザルニ至ルナリ故ニ事ヲ節シテ期ヲ定
ムルヲ要ス即チ五年又ハ十年毎ニコレヲ製作ス
ルヲ以テ足ルトス可シ

計民計民ハ全國ノ人口ニ於テモ亦然リ
一時ニ計算スルヲ云々
年々全國ノ人口ヲ計算スルコトハ遂ニ行ヒ難
キコトトス

允^ツ事實ヲ搜羅彙集スルニハ許多ノ手数ヲ經ガ
レハ之ヲ行フコト能ハズ○若^シ夫^レ農業形勢表ヲ
製セント欲スルニハ全國中ノ各邑各村ゴトニ
之ヲ探討スルノ法ヲ設置シ而シテ毎戸農夫ヨ
リ申狀ヲ出サシメコレヲ質正参照シ其獲ル所

ノ申狀ハ又数人ノ手ヲ勞セザレバコレヲ比較
湊合シテ全部ヲ集成ス可カラズ○是故ニ善ク
全備セル形勢表ヲ彙集スルハ平人ノ力ニテ
ハ成^シ難シトス允^ツ形勢表ヲ製スルニ事務ニ於
テ缺ク可カラザル人員ヲ命シ其功勞ヲ賞スル
ハ政府ニ非レバ其推アルコトナシ且^ツ形勢表ヲ
彙集スルニ須要ナル記載ヲ得ルハ政府ノ官員
ニ非レハ能ハザルコト亦タ^シ譬ハ交易ト航海

トノ形勢表ハ輸入輸出ヲ管ル收税官ノ書記
ニ頼ル外絶テ術ナキガゴトシ且居民ニ命シ
テ須要ナル申状ヲ出サシムルハ官ノ威権ニア
ラザレハ亦コレヲ行フコト能ハズ平人ニハ此
威権アルコトナシ故ニ平人ニテ精密ナル戸口
形勢表ヲ作ルコトハ力及ハサルナリ凡彙集形
勢表ハ一タヒ廿ニ出ル後別ニ徴證比較シテ其
精粗善惡ヲ知ル可キ者アルヲナン故ニ之ヲ明

確中正ナリトシテ信用セサルヲ得ス斯ク信ヲ
取ルニハ明ニ官製タルコトヲ證示スルヲ要ス
是故ニ事實ヲ彙集スル爲ニ政府特ニ造表使ヲ
置キ局ヲ開テ其事務ヲ管理監督セシム州郡各
區ニハ更ニ支局ヲ設ケ之ニ任シ而シテ規則令
條ヲ定メ其所掌ヲ詳ニス可シ始メ事實ヲ彙集
スルハ地方各區ノ邏卒若シクハ他ノ小吏ノ任ト
ス各區ノ支局ニ於テコレヲ攝取シ校正ヲ加ヘ

テ又之ヲ収縮ス、斯クシテ製シタル各地ノ形勢
表及ヒ書記ハ即チ本局ニ送り、本局コレヲ集メ
テ大成スルナリ、

右大成ノ表及ヒ書記ハ、務メテ速ニ公布ス可シ
是レ一ハ以テ世ノ知識ヲ廣クスル爲ナリ、一ハ
以テ政府事ヲ秘シ、眼前有用ノ機會ヲ失ハシメ、
後止ムコトヲ得ザル時ニ至リテ始テ其事ヲ布
告スルノ弊ヲ防ク爲ナリ、



7 112-1308

